

2021年度図書貸出・返却実績

月	貸出人數	貸出冊數	返却冊數
4	388	1209	1216
5	462	1326	1410
6	397	1165	1157
7	490	1481	1458
8	481	1434	1598
9	422	1250	1301
10	550	1517	1636
11	426	1247	1204
12	422	1225	1227
1	443	1244	1331
2	458	1300	1374
3	430	1235	1247
合計	5369	15633	16159
平均	447.4	1302.8	1346.6

神戸市立図書館の窓口やインターネットで予約した本を受け取ったり返却するサービスが令和三年度（二〇二二）は前年度比二八%増、前々年比九〇%増でほぼ倍増した。毎月の人数・冊数は表通り。ほかの施設に比べ、一日当たりの利用者数・冊数とも抜きん出でいて、利便性の高さが際立っている。

令和三年度の貸出実績は新型コロナウイルスの影響はあったが休館はなかった。貸出人數平均四四七人、冊数は一三〇二冊でいずれも過去最高。一年度は二四一人、六八九冊、二〇年度は三五〇人、一〇二冊だったので、二年でほぼ倍増した。十月に初めて貸出人數五五〇人、貸出冊數一五一七冊で過去最高を記録した。また返却冊數は十月に一六三六冊となつた。貸出冊數に応じて順調に伸びているが、貸出冊數をやや上回る月が多く、勤務先の近くの図書館などで借りたあと、自宅近くの史料館で返却するというニーズがあることがうかがえる。

（文責・大国正美）

図書貸出サービスが最多更新

史料館日誌抄

史料館副館長 道 谷 卓

二〇二一年四月～二二年三月

9月26日 企画展示 東灘高生が選んだ よみがえる「深江音頭」の風景（二〇一二年八月二七日まで）

11月20日 本荘児童館

（見学者 二五名）

（二〇二一年）

2月28日 本山南小学校三年生

（見学者 六七名）

資料寄贈者ご芳名

（敬称略）二〇二一年四月～二二年三月

井上 宏／佐原浩平

（道谷 卓記）

編集後記

小誌が五〇号を迎えたことを記念して増ページした。豊臣秀吉の朱印状の発見には驚いた。天正年間には本庄は村切が終わっており、深江村も誕生していたと思われる。また神戸市の図書貸出・返却サービスで貯めた資金を使い貴重な古絵図をまとめて五点収集した。本来は行政が収集するべきと思うが財政が厳しく、流出を防ぐために判断した。地域や東灘高校と連携して「深江音頭」の復活をPRする展示も行つた。正寿寺の歴史、岡田茂義氏の回顧録の続編も未読いただきたい。

（大国）

『生活文化史』

第50号 2022・3・31

編集
行／神戸深江生活文化史料館

〒658-0021 神戸市東灘区深江本町3-5-7
078-453-4980 (FAX兼用)
<http://fukae-museum.la.coocan.jp/>